

医療情報標準化推進協議会

Health Information and Communication Standards Board

HELICS協議会

HELICS活動の概要

江本 豊

HELICS協議会・広報委員会委員長
(京都医療科学大学・医療科学部)

標準

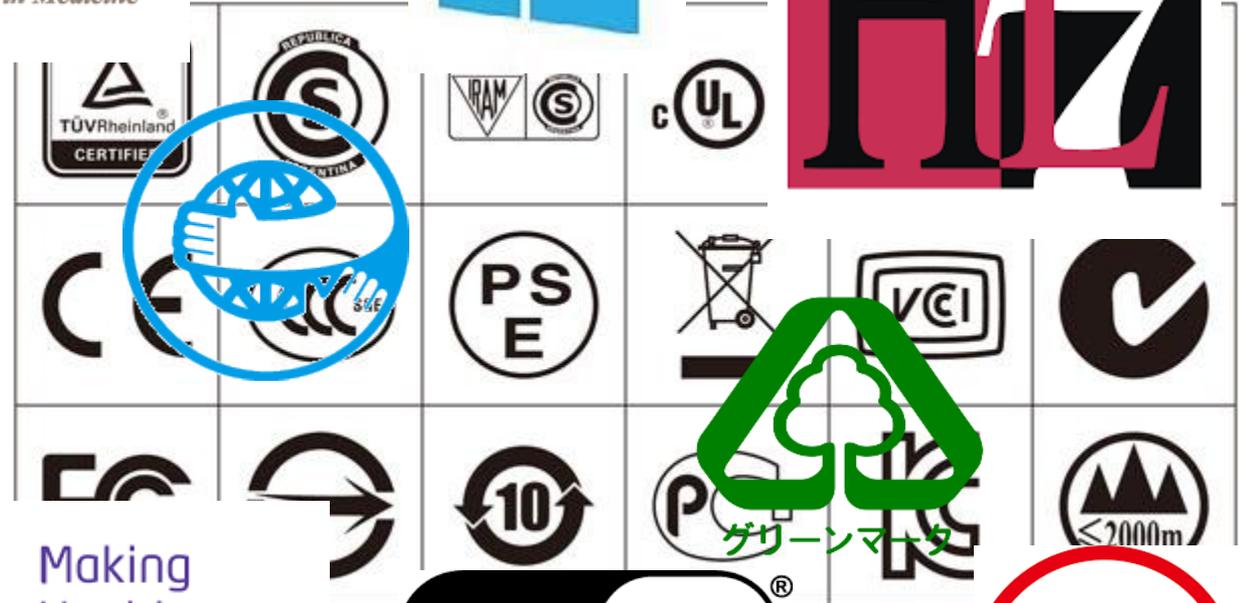
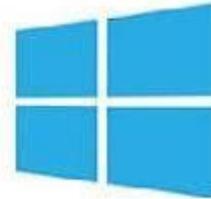
1. 判断のよりどころや行動の目安となるもの。
基準。「標準に合わない」
2. 平均的であること。
また、その度合い・数値。並み。
「標準に及ばない」「標準の体重」

規格

1. 工業製品・材料・工程などに対して定めた基準。
2. 物事の基準となる、社会一般の標準。
「規格をはみ出した人物」



標準規格



グリーンマーク



Making
Healthcare
Interoperable



HELICS協議会 目的

(目的)

第3条 本会は、保健医療福祉情報システムで扱う情報（患者情報を含む）を電子的に交換するための方法、コードを含む記述形式、保存形式などについて、医療情報の標準化とその内容についての我が国の基本方針を定め、策定、維持管理、普及などの標準化に関する団体間での一貫性のある活動を実現する。同時に利用目的ごとに採択すべき標準規格を推奨し、その利用のための指針を示す。

歴史

- 2001年設立
- 2002年 最初の「医療情報標準化指針」
- 2010年 最初の「厚生労働省標準規格」
- 2019年5月10日から
一般社団法人 医療情報標準化推進協議会
(HELICS協議会) となる
- 2022年時点27の標準規格を「HELICS指針」
として推奨・公開

社員(会員)



HELICS協議会の活動

標準規格の採択

申請のあった標準案について、他の内外の規格との整合性、一貫性、また当該標準案の完成度、維持体制などについて審議し、目的ごとに使用すべき標準規格を採択し、**医療情報標準化指針**を策定。

各団体との協議

審議の過程で、必要に応じて、標準化活動を行っている団体に対して適切な助言。

情報の提供

標準化の推進のための情報として**医療情報標準化レポート**を提供。

HELICS標準化指針審査の際の主要チェック項目

2020年2月5日

一般社団法人医療情報標準化推進協議会
標準化委員会

1. 医療情報標準化指針（HELICS標準化指針）の対象となる標準規格は、制定することが適切であり関連するユーザやベンダー等の大多数の支持を得ている。または、我が国の医療情報活用の将来にとって必要と考えられる標準規格である。
2. 該当する標準規格の作成の経緯及び決定プロセスが妥当である。
3. 同種のお標準（含む海外標準）との関連状況について、相違点及び重複点の取り扱い方が明確になっている。
4. 該当する標準規格の適用領域及び想定される使用場面は妥当である。
5. 指針申請する標準化団体の標準規格のメンテナンス方法が明確になっている。
6. 該当する標準規格を入手できる個人または組織の資格や条件が明確になっている。
7. 該当する標準規格の入手方法がオープンで簡便である。
8. 該当する標準規格の価格等が妥当である。
9. 該当する標準規格の入手経路が保証されている。
10. 該当する標準規格に係わる特許及び著作権など知的所有権等に関して大きな問題が無い。
11. 該当する標準規格に関して必要な資料は添付している。
12. その他

I. 「医療情報標準化指針」一覧（採択されたもの）

（申請受付番号は指針申請時に付番されます。改訂された場合には番号が変わりますので旧番号も合わせて記載します。改定履歴はIV. [改定履歴一覧](#)をご覧ください。）

申請受付番号	提案規格名（ [] 内は提出団体名）	状況	申請日	採択日	厚生労働省標準規格	申請書	レポート	規格書等
HS001	医薬品HOTコードマスター 【（一財）医療情報システム開発センター】	採択	2002/03/04	2003/05/23	認定 2010/03/31 通知PDF	PDF	2018/05 PDF	リンク
HS005	ICD10対応標準病名マスター 【（一財）医療情報システム開発センター】	採択	2004/06/16	2004/12/28	認定 2010/03/31 通知PDF	PDF	2018/05 PDF	リンク
HS007	患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書 （患者への情報提供） 【日本HL7協会】	採択	2006/03/28	2007/03/16	認定 2010/03/31 通知PDF	PDF	2018/05 PDF	リンク
HS008	診療情報提供書（電子紹介状） 【日本HL7協会】	採択	2007/12/26	2008/09/01	認定 2010/03/31 通知PDF	PDF	2018/05 PDF	リンク
HS009	IHE統合プロファイル「可搬型医用画像」および その運用指針 【（一社）日本医療情報学会】	採択	2008/01/07	2008/12/01	認定 2010/03/31 通知PDF	PDF	2013/07 PDF	リンク
HS011 （HS004から更新）	医療におけるデジタル画像と通信（DICOM） （「HS004：DICOM規格」からの改訂版） 【（一社）日本画像医療システム工業会】	採択	2009/08/06	2010/01/25	認定 2010/03/31 通知PDF	PDF	2018/04 PDF	リンク
HS012 （HS002から更新）	JAHIS臨床検査データ交換規約 （「HS002：JAHIS臨床検査データ交換規約 Ver.2.0」からの改訂版） 【（一社）保健医療福祉情報システム工業会】	採択	2009/12/07	2010/02/10	認定 2010/03/31 通知PDF	PDF	2018/05 PDF	リンク
HS013	標準歯科病名マスター 【（一財）医療情報システム開発センター】	採択	2009/12/18	2010/09/20	認定 2011/12/21 通知PDF	PDF	2018/05 PDF	リンク

HS014	臨床検査マスター 〔（一財）医療情報システム開発センター〕	採択	2009/12/18	2011/01/31	認定 2011/12/21  通知PDF	 PDF	2018/05  PDF	 リンク
HS016	JAHIS放射線データ交換規約 〔（一社）保健医療福祉情報システム工業会〕	採択	2011/03/08	2011/09/29	認定 2011/12/21  通知PDF	 PDF	2018/05  PDF	 リンク  正誤表
HS017	HIS, RIS, PACS, モダリティ間予約, 会計, 照射 録情報連携指針 (JJ1017指針) 〔（公社）日本放射線技術学会〕	採択	2011/04/19	2011/12/16	認定 2012/03/23  通知PDF	 PDF	2018/07  PDF	 リンク
HS022	JAHIS処方データ交換規約 〔（一社）保健医療福祉情報システム工業会〕	採択	2013/10/09	2014/12/16	認定 2016/03/28  通知PDF	 PDF	2018/05  PDF	 リンク
HS024	看護実践用語標準マスター 〔（一財）医療情報システム開発センター〕	採択	2014/11/04	2016/02/12	認定 2016/03/28  通知PDF	 PDF	2018/05  PDF	 リンク
HS026	SS-MIX2ストレージ仕様書および構築ガイドライン 〔（一社）日本医療情報学会〕	採択	2015/09/14	2016/02/19	認定 2016/03/28  通知PDF	 PDF	2018/04  PDF	 リンク
HS027	処方・注射オーダ標準用法規格 〔（一社）日本医療情報学会〕	採択	2016/03/18	2016/09/09	認定 2018/05/21  通知PDF	 PDF	2018/04  PDF	 リンク
HS028 (HS010か ら更新)	ISO 22077-1:2022 保健医療情報－医用波形フォーマット－パート 1：基本規格 〔（一財）医療情報システム開発センター〕	採択	2016/03/31	2016/04/13	認定 2010/03/31  通知PDF	 PDF	2022/03  PDF	ISOまたは JSAから入 手可能
HS029	患者状態アウトカム用語集ベーシックアウトカム マスター 〔日本クリニカルパス学会、日本医療情報学会推 薦〕	採択	2016/11/14	2019/01/22	未定	 PDF	2018/10  PDF	 リンク 利用に当た っては日本 クリニカル パス学会に 相談くださ い。
HS030	データ入力用書式取得・提出に関する仕様 (RFD) 〔日本IHE協会〕	採択	初出 2018/06/18 改訂 2019/01/08	2019/05/09	認定 2019/10/16  通知PDF	 PDF	2018/12  PDF	 リンク

HS031 (HS023、 HS025から 更新)	地域医療連携における情報連携基盤技術仕様 (「HS023、HS025：地域医療連携における情 報連携基盤技術仕様」からの改訂版) 〔(一社)日本IHE協会〕	採択	2016/12/06	2017/02/10	認定 2016/03/28  通知PDF	 PDF	2018/04  PDF	 リンク
HS032	HL7 CDAに基づく退院時サマリー規約 〔日本HL7協会〕	採択	2018/01/08	2019/06/20	認定 2019/10/16  通知PDF	 PDF	2019/05  PDF	 リンク
HS033	標準歯式コード仕様 〔(一財)医療情報システム開発センター〕	採択	2018/03/22	2018/10/02	認定 2019/10/16  通知PDF	 PDF	2018/08  PDF	 リンク
HS034	口腔診査情報標準コード仕様 〔(公社)日本歯科医師会、(一財)医療情報シ ステム開発センター推薦〕	採択	2018/12/12	2019/12/19	認定 2021/03/26  通知PDF	 PDF	2018/12  PDF	 リンク
HS035	医療放射線被ばく管理統合プロファイル 〔日本IHE協会〕	採択	2019/05/30	2020/05/7	認定 2021/03/26  通知PDF	 PDF	 PDF	 リンク
HS036	処方情報HL7 FHIR記述仕様 〔日本医療情報学会〕	採択	2021/09/21	2022/02/28	認定 2022/03/24  通知PDF	 PDF	 PDF	 リンク
HS037	健康診断結果報告書HL7 FHIR記述仕様 〔日本医療情報学会〕	採択	2021/09/21	2022/02/28	認定 2022/03/24  通知PDF	 PDF	 PDF	 リンク
HS038	診療情報提供書HL7 FHIR記述仕様 〔日本HL7協会、日本医療情報学会〕	採択	2021/10/10	2022/02/28	認定 2022/03/24  通知PDF	 PDF	 PDF	 リンク
HS039	退院時サマリー-HL7 FHIR記述仕様 〔日本HL7協会、日本医療情報学会〕	採択	2021/10/10	2022/02/28	認定 2022/03/24  通知PDF	 PDF	 PDF	 リンク

HELICS指針と厚生労働省標準規格

HELICS協議会 標準化指針



A規格



C規格



B規格



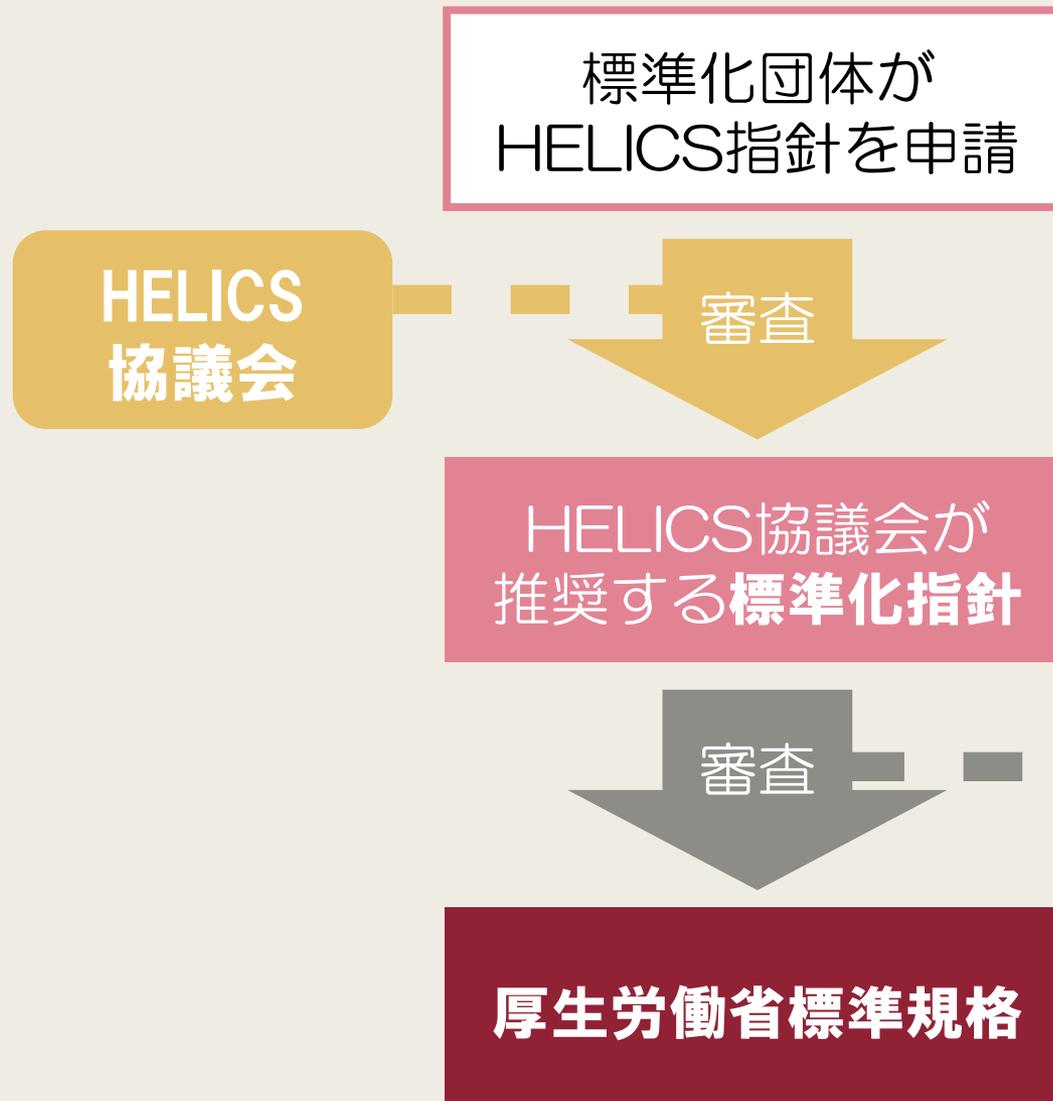
D規格

厚生労働省 保健医療情報標準化会議



厚生労働省標準

厚生労働省標準規格のプロセス



厚生労働省

保健医療情報 標準化会議

標準化に関する合意を形成し得る民間団体を特定し、標準とするに相当であるとされた規格を厚生労働省における標準として認める。

HELICS協議会が「**標準に関する合意を形成しうる民間団体**」とされた。

厚生労働省標準規格 通知

医政発0324第13号
政統発0324第3号
令和4年3月24日

各
〔 都道府県知事
地方厚生（支）局長 〕 殿

厚生労働省医政局長
（ 公 印 省 略 ）

厚生労働省政策統括官（統計・情報政策、労使関係担当）
（ 公 印 省 略 ）

「保健医療情報分野の標準規格（厚生労働省標準規格）について」の
一部改正について

今般「保健医療情報標準化会議」において「新たに厚生労働省において保健医療情報分野の標準規格として認めるべき規格について」（令和4年3月22日保健医療情報標準化会議）が提言されたことを受け、新たに、下記の規格についても、厚生労働省における保健医療情報分野の標準規格（平成22年3月31日医政発0331第1号。以下「厚生労働省標準規格」という。）として認めることとし、別紙のとおり改正することとしたため、貴職におかれても、御了知の上、関係者に周知方を願います。

記

HS036 処方情報 HL7 FHIR 記述仕様
HS037 健康診断結果報告書 HL7 FHIR 記述仕様
HS038 診療情報提供書 HL7 FHIR 記述仕様
HS039 退院時サマリー HL7 FHIR 記述仕様

厚生労働省標準規格 通知

1 厚生労働省標準規格の一覧

厚生労働省標準規格は、以下の規格等とする。

- ・ HS001 医薬品 H0T コードマスター
- ・ HS005 ICD10 対応標準病名マスター
- ・ HS007 患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書（患者への情報提供）
- ・ HS008 診療情報提供書（電子紹介状）
- ・ HS009 IHE 統合プロファイル「可搬型医用画像」およびその運用指針
- ・ HS011 医療におけるデジタル画像と通信（DICOM）
- ・ HS012 JAHIS 臨床検査データ交換規約
- ・ HS013 標準歯科病名マスター
- ・ HS014 臨床検査マスター
- ・ HS016 JAHIS 放射線データ交換規約
- ・ HS017 HIS, RIS, PACS, モダリティ間予約, 会計, 照射録情報連携 指針（JJ1017 指針）
- ・ HS022 JAHIS 処方データ交換規約
- ・ HS024 看護実践用語標準マスター
- ・ HS026 SS-MIX2 ストレージ仕様書および構築ガイドライン
- ・ HS027 処方・注射オーダ標準用法規格
- ・ HS028 ISO 22077-1:2015 保健医療情報－医用波形フォーマット－パート 1：符号化規則
- ・ HS030 データ入力用書式取得・提出に関する仕様（RFD）
- ・ HS031 地域医療連携における情報連携基盤技術仕様
- ・ HS032 HL7 CDA に基づく退院時サマリー規約
- ・ HS033 標準歯式コード仕様
- ・ HS034 口腔診査情報標準コード仕様
- ・ HS035 医療放射線被ばく管理統合プロファイル
- ・ HS036 処方情報 HL7 FHIR 記述仕様
- ・ HS037 健康診断結果報告書 HL7 FHIR 記述仕様
- ・ HS038 診療情報提供書 HL7 FHIR 記述仕様
- ・ HS039 退院時サマリー HL7 FHIR 記述仕様

医療情報標準化レポート

HELICS

一般社団法人
医療情報標準化推進協議会（HELICS協議会）

1

HS038 医療情報標準化協議会レポート 2022.02

【規格名】

（和文名）

診療情報提供書 HL7FHIR 記述仕様

（英文名）

Referral Document Specification
based on HL7 FHIR

【規格の目的（ユースケースを含む）】

本規格は、異なった医療機関間でも止し、的確に継続して医療を行えるよう診療情報を要約記述し紹介状として作成する目的で規定したものである。本規格は、HL7 FHIR に準拠して、本紹介状を作成した作成者、所属する医療機関の情報、リソースに記載され、リソースに、検査結果、処方箋、処方箋は処方リソースから取得できるようにしている。このような規格により、作成時の文書様式と、受取時の文書様式（画面表示や印刷様式）は同じである必要はなく、

「医用画像」およびその運用指針、の other files の部分にこの FHIR 紹介状を入れて用いることが望ましい。処方データ、検体検査データなどは本文に文章として記載できるが、客観的情報として意味を持つことが多いため、SS-MIX2 ストレージや DICOM PACS などから自動収集が可能なシステムを利用できる場合には、それぞれのリソースに持つことが望ましい。当然ながら、病名、歯科病名、検査項目、薬剤、などのコードは、他の HELICS 規格を用いることが望ましい。なお、HL7 FHIR には、データ転送プ
【関連他標準との関係】
・HL7 FHIR に準拠しており、国際規

【規格の目的、概要】
だけでも価値あり。

ation

お問い合わせ

旧番号も合わせて記載

請求書	レポート	規格書等
PDF	2018/05 PDF	リンク
PDF	2018/05 PDF	リンク
PDF	2018/05 PDF	リンク

HELICS指針の解説

- HL7 FHIR記述仕様の解説
大江 和彦（日本HL7協会）

- 診療情報提供書

HS038

- 退院時サマリー

HS039

- HL7 FHIR記述仕様の解説
大江 和彦（JAMI）

- 処方情報

HS036

- 健康診断結果報告書

HS037

<第2部>

厚生労働省の最近の取り組み

田中 彰子

厚生労働省医政局

特定医薬品開発支援・医療情報担当参事官



HELICS

一般社団法人

医療情報標準化推進協議会(HELICS協議会)

HEaLth Information and Communication Standards Organization